



最高700℃の過熱蒸気で洗浄工程を革新！ ポリマー洗浄テスト装置を新設しました

過熱蒸気で速やかなポリマー洗浄を実現。洗浄時間を大幅短縮します！

2019年5月10日から過熱蒸気によるポリマー洗浄テストが可能となります。

温度制御精度±1℃、最高温度1000℃で業界トップクラスの過熱蒸気発生装置UPSSを内蔵したポリマー洗浄テスト装置が完成し、本社・京都工場にて無料でテスト受付を開始します。溶融紡糸口金や樹脂フィルター、ブレーカープレートの洗浄に最適です。

特長

従来のポリマー洗浄は、薬液による樹脂分解、ガス焼き等が一般的で、危険を伴い、洗浄に長時間を要していましたが、過熱蒸気発生装置UPSSによる洗浄なら、3つのプロセスで安全かつ短時間で洗浄できます。

- ① 低温過熱蒸気処理で樹脂溶融・回収
- ② 高温過熱蒸気で樹脂分解・昇華
- ③ 高温空気でポリマーの残留物を燃焼処理

概略仕様

- ワーク最大寸法 : 400×400×400mm
- ワーク最大重量 : 80kg (20kg以下/個)
- 洗浄槽内温度 : MAX 550℃
- 過熱蒸気・空気温度 : 200℃～MAX 700℃
- 過熱蒸気量 : 60kg/h (水量)

3つの洗浄プロセスを1台で完結。



↑ 洗浄槽拡大



ポリマー洗浄装置外観



洗浄槽

事例紹介

溶融紡糸口金のポリマー洗浄実験例

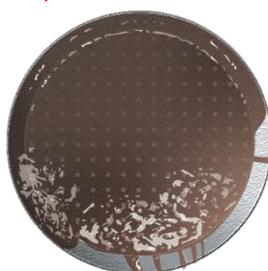
① 低温過熱蒸気



大半のポリマーを
低温過熱蒸気で回収



② 高温過熱蒸気



ポリマーの残留物を燃
焼処理して一気に洗浄
します。過熱蒸気は低
酸素状態な為、発生ガ
スは最小限。

③ 高温空気

